

宍道湖・中海の令和元年度水質測定結果について

1. 宍道湖の令和元年度水質測定結果について

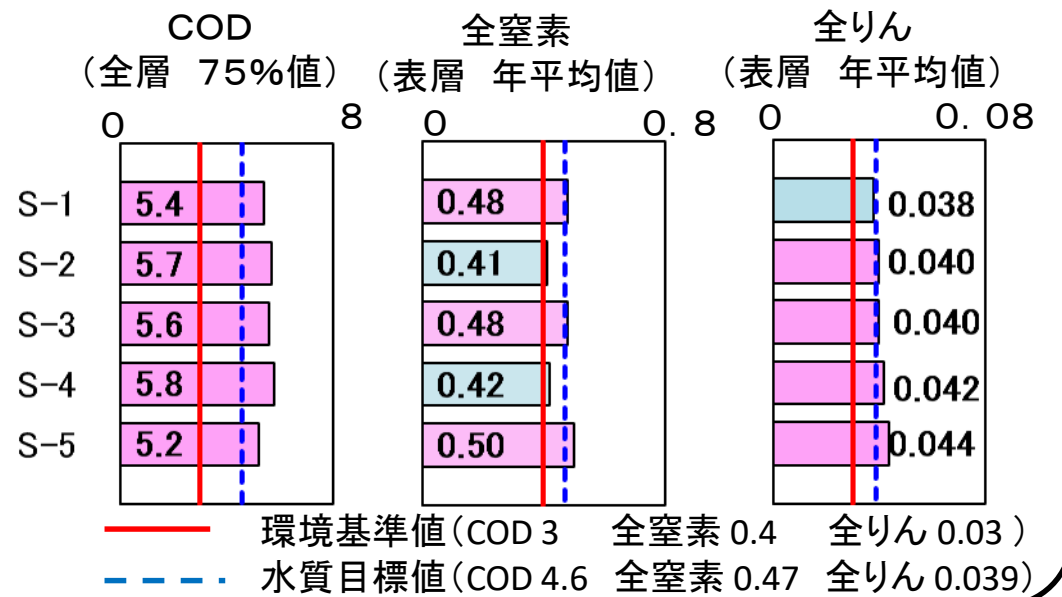
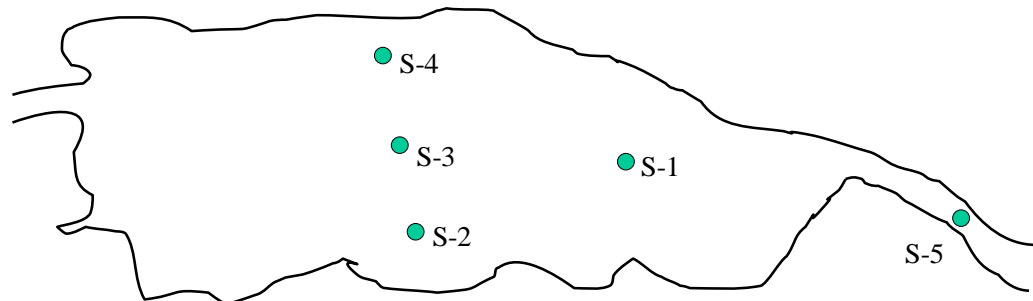
(1) 環境基準等の達成状況について

- 環境基準点5地点における水質測定結果は、COD(化学的酸素要求量)、全窒素及び全りんについて、いずれの項目も環境基準未達成(図1-1、図1-2)
- 第7期湖沼水質保全計画の目標水質について、いずれの項目も未達成。
- 平成22~24年度に3年連続して大発生したアオコは発生はなかった。
- アオコの大発生がなかったのは、一年をとおして湖内が比較的高めの塩分で推移したことが理由の1つと考えられる。

図1-2. 宍道湖の環境基準点の測定結果

単位: mg/l

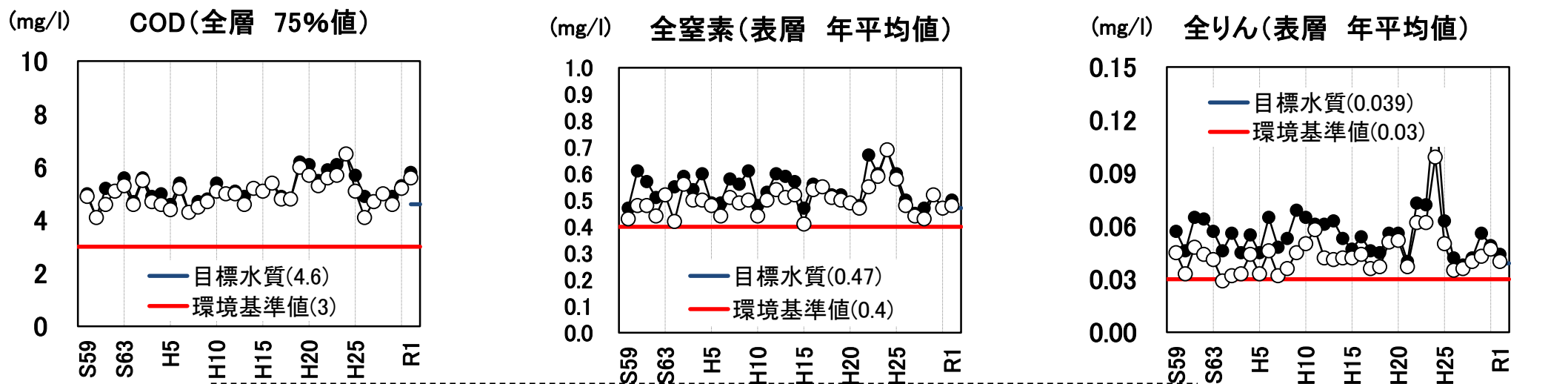
図1-1. 宍道湖の測定地点図



(2) 経年変化について

- COD及び全窒素は、最高地点、湖心ともに昨年度より上昇したものの、過去の変動の範囲内であった。
- 全りんは、平成22~24年度は高めで推移していたが、平成25年度以降低下し、水質目標値付近の値となっている。

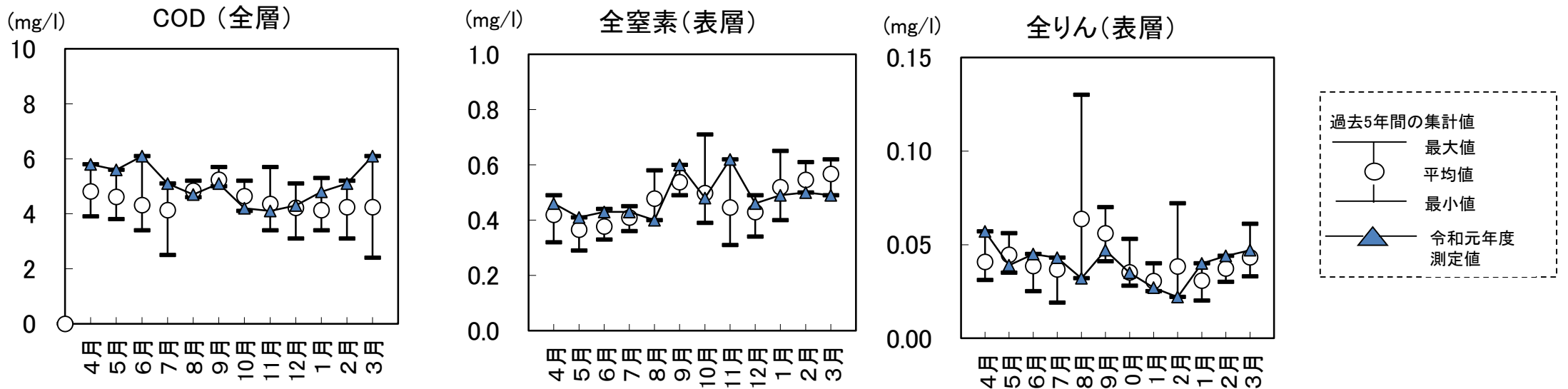
図2. 宍道湖の水質の経年変化



備考: 「最高値」とは、環境基準点のうち、各年度において最も高い地点の値。

【参考1】経月変化(湖心 S-3)

図. 宍道湖湖心における令和元年度水質測定値の経月変化



【参考2】令和元年度の気象状況

- 年平均気温(松江)は16.1°Cで、平年値(14.9°C)より高かった。
- 年間降水量(松江)は1563.5mmで、平年値(1787.2mm)より少なかった。
- 年間日照時間(松江)は1800.2時間で、平年値(1696.2時間)より多かった。

2. 中海の令和元年度水質測定結果について

(1) 環境基準等の達成状況

○環境基準点12地点における水質測定結果は、COD(化学的酸素要求量)、全窒素及び全りんはいずれの項目も環境基準未達成(図1-1、図1-2)

○第7期湖沼水質保全計画で定めた目標水質について、全窒素及び全りんは、達成。CODはT-3以外の地点では目標水質を達成。

図1-1 中海の環境基準点の位置図

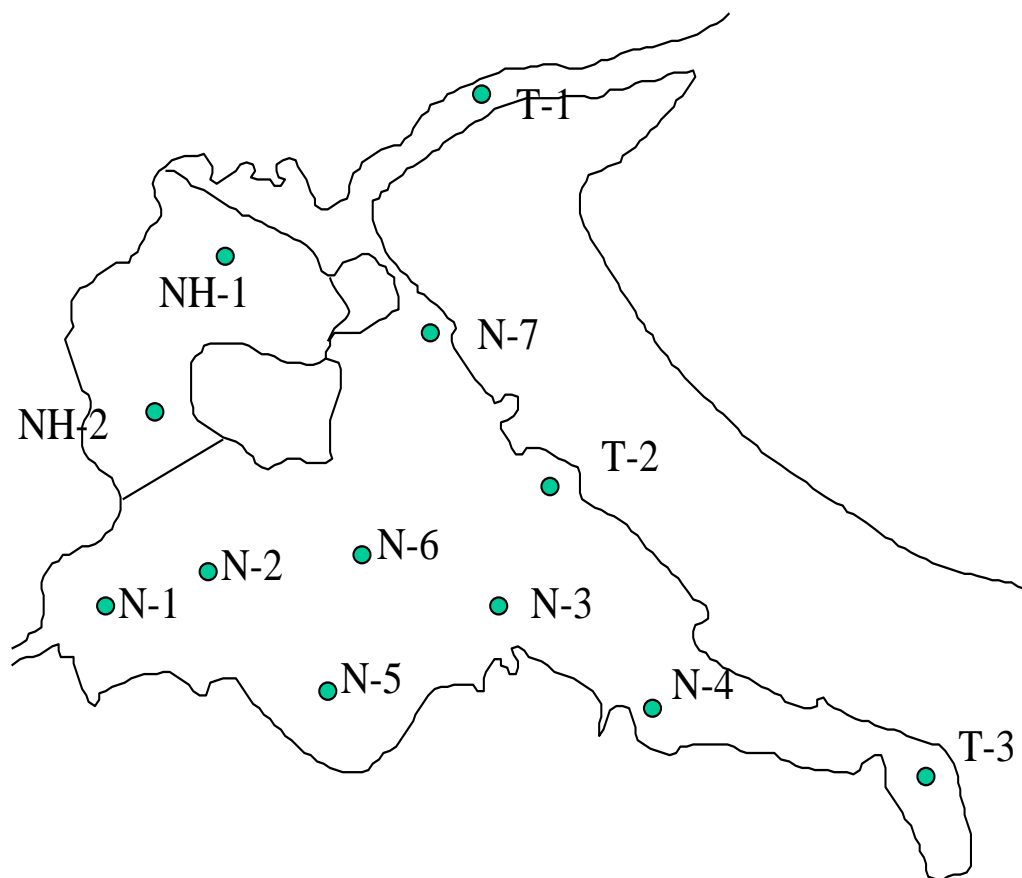
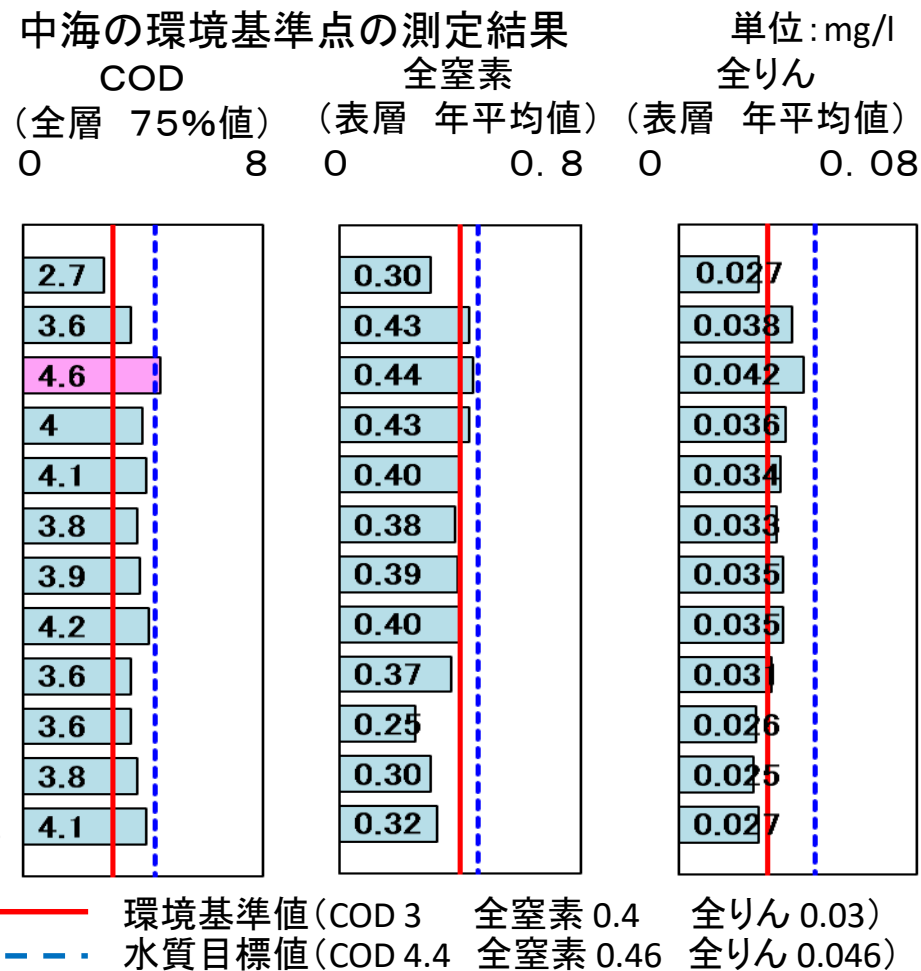


図1-2 中海の環境基準点の測定結果

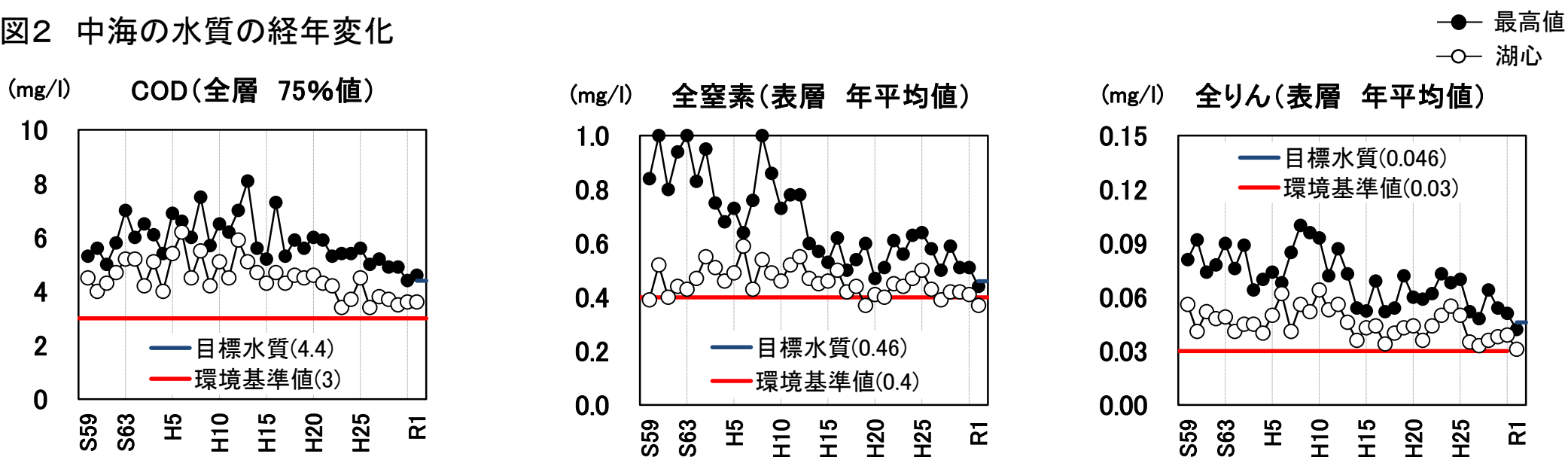


(2) 経年変化

○CODは、最高地点、湖心ともに昨年度より上昇したものの、過去の変動の範囲内であった。

○全窒素及び全りんは、最高地点、湖心ともに昨年度より低下し、**最高地点は昭和59年以降で最も低い値であった。**

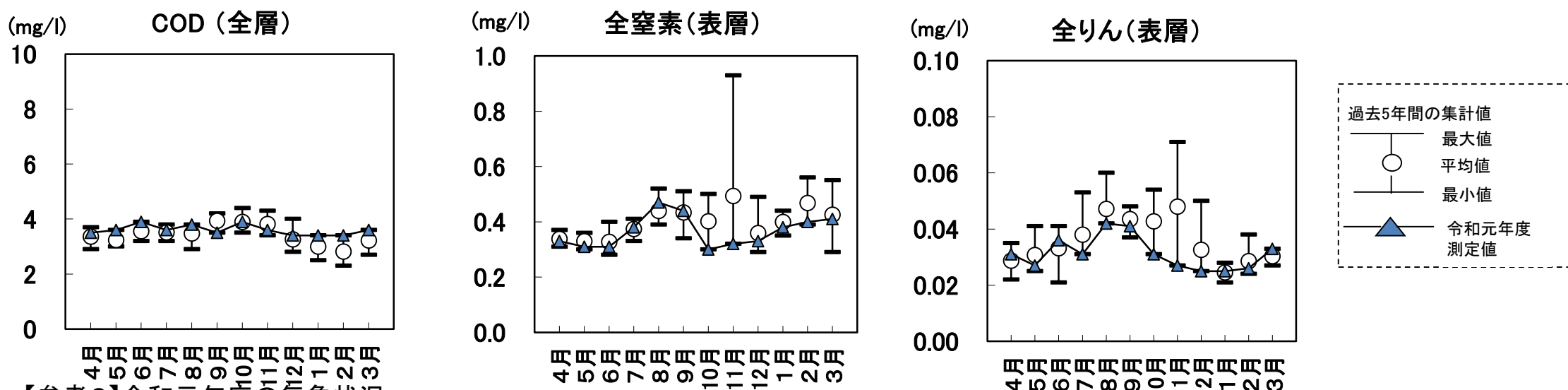
図2 中海の水質の経年変化



備考: 「最高値」とは、環境基準点のうち、各年度において最も高い地点の値。

【参考1】経月変化(湖心 N-6)

図3 中海湖心における令和元年度水質測定値の経月変化



【参考2】令和元年度の気象状況

- 年平均気温(米子)は16.3℃で、平年値(15.0℃)より高かった。
- 年間降水量(米子)は1391.0mmで、平年値(1772.0mm)より少なかった。
- 年間日照時間(米子)は1804.7時間で、平年値(1732.3時間)とより多かった。